

特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金役員報酬規程

第1条（目的）

この規程は、特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金（以下「当法人」という。）定款第18条（報酬等）に基づき、役員報酬について基本事項を定めることを目的とする。

第2条（役員）

この規程で定める役員とは、当法人の理事および監事とする。

第3条（報酬及び費用の支給）

1. 当法人は、役員報酬は一切支給しない。
2. 第1条にかかわらず、当法人は、役員に対し、旅費等の実費は支給することができる。
3. 第1条及び第2条にかかわらず、当法人は、当法人に対し通訳・翻訳の役務を提供した役員に対し、通訳・翻訳規定に基づき業務委託料を支給することができる。

第4条（補則）

この規程に関し、必要な事項は代表理事が別に定める。

附則

この規程は、2020年5月30日から施行する。

特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金

職員給与規程

(目的)

第1条 この規程は、特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金（以下「当法人」という。）の職員に対する給与の規定に関して、基本事項を定める。

(適用範囲)

第2条 この規程は、職員として採用された者に対して適用する。

(給与等の定義)

第3条 この規程で給与とは、職員に対して、労働の対価として支払われるものを言う。

(均等待遇)

第4条 当法人は、職員の国籍、信条または社会的身分を理由として、給与その他待遇において差別的取り扱いをしてはならない。

(給与の決定)

第5条 職員の給与は、職員の勤務形態に応じて、代表理事がこれを定め、理事会に報告するものとする。

(給与計算期間及び締め切り日)

第6条 給与計算期間は、毎月1日から末日までとし、末日を締め切り日とする。

(給与の支払日)

第7条 給与は毎月25日に支払う。ただし、支払日が金融機関の休日に該当するときは、支払日の直前の金融機関の営業日に支払う。

(給与の支払方法)

第8条 給与は、職員に現金を手渡しまたは職員が指定した本人名義の預貯金口座への振込により支払う。

2. 職員は、第1項に基づき給与の支払を振込によりうけるときは、所定の手続により給与の振込を受ける預貯金の口座を当法人に届け出なければならない。

(給与からの控除)

第9条 給与の支払に当たっては、各号に掲げるものを控除する。

- (1) 源泉所得税及び特別徴収による住民税
- (2) 雇用保険保険料の労働者負担分
- (3) その他法令により控除が義務づけられているもの

(時間外・休日勤務手当)

第10条 時間外・休日勤務を命じた職員には、法令により計算した手当を支給しなければならない。

(交通費)

第11条 職員の交通費は実費を支給するものとする。

(休暇)

第12条 職員には、法令に定められた有給休暇を与えなければならない。

(補則)

第13条 本規程に関し、必要な事項は代表理事が別に定める。

(改廃)

第14条 本規程の改廃は理事会の決議を経て行う。

附則

本規程は2020年5月30日より施行する。

特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項を記載した書類

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援 日中未来平和基金	事業年度	2019年4月1日～2020年3月 31日
-----	--------------------------------	------	--------------------------

1 資金に関する事項〔①収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項〕

※ 丸数字は、特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項の詳細について規定している特定非営利活動

(1) 収益の源泉別の明細

収 益 源 泉 の 内 訳	金 額
正会員受取会費	155,000 円
賛助会員受取会費	531,000 円
受取寄附金	1,526,029 円
写真パネル貸し出しによる広報事業収益	15,000 円
講演会資料代による広報事業収益	21,000 円
受取利息	1,924 円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
合 計	2,249,953 円

(2) 借入金の明細

借 入 先	金 額
なし	円
	円
	円
	円
	円
合 計	円

(3) その他

なし

2 資産の譲渡等の内容に関する事項 [②資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項]

(1) 資産の譲渡に係る料金及び条件等

[illegible]

(2) 資産の貸付けに係る料金及び条件等

[illegible]

(3) 役務の提供に係る料金及び条件等

[illegible]

3 取引の内容に関する事項 [③次に掲げる取引先、取引金額その他その内容に関する事項 イ 収益の生ずる取引及び費用の生ずる取引のそれぞれについて、取引金額の最も多いものから順次その順位を付した場合におけるそれぞれ第一順位から第五順位までの取引 ロ 役員等との取引]

(1) 収益の生ずる取引の上位5者

氏名又は名称	住所又は所在地	取引金額	取 引 内 容 等
		303,000 円	寄附金 300,000 円，賛助会員会費 3,000 円
		115,000 円	寄付金 112,000 円，賛助会員会費 3,000 円
		110,000 円	寄附金 107,000 円，賛助会員会費 3,000 円
		55,000 円	寄附金 50,000 円，正会員会費 5,000 円
		50,000 円	寄附金

(2) 費用の生ずる取引の上位5者

氏名又は名称	住所又は所在地	取引金額	取 引 内 容 等
		948,858 円	遺棄化学兵器被害者検診手数料
		303,940 円	遺棄化学兵器被害者検診のための渡航費用
		216,440 円	遺棄化学兵器被害者検診における通訳費用
		132,000 円	遺棄化学兵器被害者検診における通訳費用
		94,056 円	倉庫賃借料

(3) 役員、社員、職員若しくは寄附者又はこれらの者の親族等との取引
イ 資産の譲渡（棚卸資産を含む。）

[illegible]

ロ 資産の貸付け（金銭の貸付けを含む。）

[illegible]

ハ 役務の提供（施設の利用等を含む。）

[illegible]

支出年月日	支出先の名称	所 在 地	寄附の目的等	支出した寄附金額
・ ・	別紙の通り			円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
・ ・				円
合 計				円

7 海外への送金等に関する事項 [⑦海外への送金又は金銭の持出しを行った場合におけるその金額及び用途並びにその実施日]

[illegible]

支出先の名称等	住所等	支出年月日	支出金額（円）	寄附の目的等
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/4/3	16,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	
		2019/12/24	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2020/1/10	67,310	日本国内の遺棄化学兵器被害者が自宅から病院への通院する為の交通費の支援金
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元

支出先の名称等	住所等	支出年月日	支出金額（円）	寄附の目的等
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/25	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	11,708	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）750人民元
		2019/12/10	15,450	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/10	15,450	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元

支出先の名称等	住所等	支出年月日	支出金額（円）	寄附の目的等
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/5/13	15,970	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/5/14	15,850	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/6/14	15,640	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/8/1	15,800	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	15,610	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	15,376	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）985人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/7	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元

支出先の名称等	住所等	支出年月日	支出金額（円）	寄附の目的等
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/24	2,794	遺棄化学兵器被害者の検診の結果判明した病気の治療費用の支援金（海外送金）1,000人民元
		2019/12/8	15,460	遺棄化学兵器被害者の薬剤代の一部支援金（海外送金）1,000人民元

認定基準等チェック表 (第3表)

(初葉)

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金	チェック欄
3 運営組織及び経理に関して次に掲げる基準に適合していること イ 役員の総数のうちに次の者の数の占める割合がそれぞれ3分の1以下であること (1) 役員及びその親族等 (2) 特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等 ロ 各社員の表決権が平等であること ハ 会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けていること、又は帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存について青色申告法人に準じて行われていること ニ 支出した金銭の費途が明らかでないものがある等の不適正な経理が行われていないこと		✓

イ

項 目		役員数	最も人数が多い「親族等」のグループの人数	割 合 (②÷①)	最も人数が多い「特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等」のグループの人数	割 合 (④÷①)
区 分		①	②	③	④	⑤
③	2019年4月1日～2020年3月31日	19人	0人	0%	2人	10.5%
④	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
⑤	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
⑥	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
⑦	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
⑧	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
⑨	年 月 日～ 年 月 日	人	人	%	人	%
申請時		人	人	%	人	%

(注1) 各欄の人数等は、第3表付表1「役員の状況」から転記してください。

(注2) ③及び⑤については、小数点以下第2位を切り捨てた数値を記載してください。

ロ

各社員の表決権が平等である	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	申請時
上記を証する書類の名称とその内容等	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

(注意事項)

- 認定基準等チェック表(第3表)は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、上記ロの記載の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、添付を省略することができます。

第3表 (次葉)

ハ

項 目	①	②	③	④	⑤	⑥	申請時
会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている	はい ☒ いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている	☒ はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

⑥ 該当する項目を○で囲み、監査証明書又は第3表付表2「帳簿組織の状況」を添付してください。

二

項 目	①	②	③	④	⑤	⑥	申請時
費途が明らかでない支出がある、帳簿に虚偽の記載がある等の不適正な経理の有無	有・ ☒ 無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

「認定基準等チェック表」(第3表) 記載要領

項 目	記 載 要 領	注 意 事 項
イの各欄	区分欄の「①～④」の各欄には、実績判定期間の各事業年度（又は各年）を記載します。 第3表付表1「役員の状況」を記載して、「①」、「②」及び「④」の各欄に該当する人数を転記します。	
ロの各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 「上記を証する書類の名称とその内容等」欄には、例えば、「定款（又は会則）第○条に『各正会員の表決権は、平等なものとする』と規定」のように記載します。	「上記を証する書類の名称とその内容等」欄には証する書類の内容を文言のとおりに記載します。
ハの各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「①」から「④」については、イに記載する各期間（「①」から「④」）を示したものです。	① 「会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている」の「はい」に「○」した場合には監査証明書を添付してください。 ② 「帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている」の「はい」に「○」した場合には、第3表付表2「帳簿組織の状況」を記載し添付してください。
ニの各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「①」から「④」については、イに記載する各期間（「①」から「④」）を示したものです。	

記載要領の補足

○ ニにおいて、「費途が明らかでないもの」とは、法人が費用として支出した金額のうち、その費途を確認することができないものをいい、法人が名目に関わらず支出した金銭でその費途が明らかでないものが、これに当たります。なお、意図的にその支出先を明らかにしない支出がある場合も、当然に「費途が明らかでないもの」があることになり、認定を受けることはできません。

役 員 の 状 況

第3表付表1

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	申請時
役 員 数		19人	人	人	人	人	人	人
(1) 最も人数が多い「親族等」のグループの人数		0人	人	人	人	人	人	人
(2) 最も人数が多い「特定の法人の役員又は使用人である者並びにこれらの者の親族等」のグループの人数		2人	人	人	人	人	人	人

役 員 の 内 訳											
氏 名	住 所	職名	続柄等	就 任 等 の 状 況							
				㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	申請時	就任・退任 年月日
淡路剛久		理事		0							平成28年10月20日就任
渡邊知行		理事		0							平成28年10月20日就任
南典男		理事		0							平成28年10月20日就任
小野由紀子 （富永由紀子）		理事		0							平成28年10月20日就任
吉中丈志		理事		0							平成28年10月20日就任
磯野理		理事		0							平成28年10月20日就任
山田勝彦		理事		0							平成28年10月20日就任
藤井正實		理事		0							平成28年10月20日就任
LI LOU 李 楼		理事		0							平成28年10月20日就任

宮城恵里子		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
大谷猛夫		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
人見剛		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
林公則		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
中村梧郎		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
藤澤整		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
吉田邦彦		理事		0							平成 29 年 4 月 4 日就任
小野寺利孝		理事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任
菅本麻衣子		理事		0							平成 29 年 4 月 4 日就任
平松真二郎		監事		0							平成 28 年 10 月 20 日就任

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第 55 条第 1 項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、添付を省略することができます。

帳簿組織の状況

第3表付表2

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金		
伝票又は帳簿名	左の帳簿等の形態	記帳の時期	保存期間
入金伝票	単票	随時	10年
出金伝票	単票	随時	10年
総勘定元帳	会計ソフト（freee）使用 ルーズリーフ	随時	10年
仕訳帳	会計ソフト（freee）使用 ルーズリーフ	随時	10年
振替伝票	単票	随時	10年

（記載要領）

- ・ 「伝票又は帳簿名」欄は、例えば「入金伝票」、「出金伝票」、「振替伝票」、「現金出納帳」、「総勘定元帳」などのように記載します。
- ・ 「左の帳簿等の形態」欄は、「単票」、「ルーズリーフ」、「装丁帳簿」などのように記載します。
- ・ 「記帳の時期」欄は、「随時」、「毎日」、「一週間ごと」のように記載します。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した内容に変更がないときは、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表 (第4表)

(初業)

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金						チェック欄	
4 事業活動に関して次に掲げる基準に適合していること イ 宗教活動又は政治活動等を行っていないこと ロ 役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益を与えないこと、役員等又は役員等が支配する法人と当法人との間の資産の譲渡等に関して特別の利益を与えないこと、役員等に対し役員の選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益を与えないこと、及び営利を目的とした事業を行う者、上記イの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対し寄附を行わないこと ハ 実績判定期間における事業費の総額のうち特定非営利活動に係る事業費の額の占める割合が80%以上であること ニ 実績判定期間における受入寄附金総額の70%以上を特定非営利活動の事業費に充てていること								✓
イ								
項 目	①	②	③	④	⑤	⑥	申請時	
宗教の教義を広め、儀式を行い、及び信者を教化育成する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
ロ								
項 目	①	②	③	④	⑤	⑥	申請時	
役員の職務の内容、職員に対する給与の支給の状況、当法人とその活動内容及び事業規模が類似する他の法人の役員に対する報酬の支給の状況等に照らして、当法人の役員に対する報酬の支給として過大と認められる報酬の支給その他役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
役員等又は役員等が支配する法人に対しその対価の額が当該資産のその譲渡の時における価額に比して著しく過少と認められる資産の譲渡その他役員等又は役員等が支配する法人と当法人の間の資産の譲渡等に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
役員等に対し役員の選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
営利を目的とした事業を行う者及びイの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対する寄附の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	

(注意事項)

- 「認定基準等チェック表 (第4表)」は、法第55条第1項に基づく書類 (役員報酬規程等提出書類) の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、「認定基準等チェック表 第4表 (次業)」(ハ及びニ) の記載及び添付の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類 (役員報酬規程等提出書類) に記載した事項について、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表（第5表）

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金		チェック欄
5 次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させること			✓
イ 特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等、役員名簿及び定款等 ロ 各認定基準等に適合する旨及び欠格事由に該当しない旨を説明する書類 ハ 寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類 ニ 役員報酬又は職員給与の支給に関する規程 ホ 収益の明細その他の資金に関する事項、資産の譲渡等に関する事項、寄附金に関する事項その他一定の事項等を記載した書類 ヘ 助成の実績並びに海外送金等の金額及び使途並びにその予定日を記載した書類			
次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させることに同意する。 ※閲覧に関する細則（社内規則）等がある場合には、その細則（社内規則）等を添付してください。			同 意 ☒ する ☐ しない
イ	① 事業報告書等（事業報告書、財産目録、貸借対照表、活動計算書、年間役員名簿、社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記した書面） ② 役員名簿 ③ 定款等（定款、認証書の写し、登記事項証明書の写し）		
ロ	各認定基準等に適合する旨を説明する書類、欠格事由に該当しない旨を説明する書類		
ハ	寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類		
ニ	前事業年度の役員報酬又は職員給与の支給に関する規程		
ホ	次の事項を記載した書類 ① 収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項 ② 資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項 ③ 次に掲げる取引に係る取引先、取引金額その他その内容に関する事項 ・ 収益の生ずる取引及び費用の生ずる取引のそれぞれについて、取引金額の多い上位5者との取引 ・ 役員、社員、職員若しくは寄附者又はこれらの者の配偶者若しくは三親等以内の親族又はこれらの者と特殊の関係のある者との取引 ④ 寄附者（役員、役員の配偶者若しくは三親等以内の親族又は役員と特殊の関係のある者で、当該法人に対する寄附金の額の事業年度中の合計額が20万円以上であるものに限る。）の氏名並びにその寄附金の額及び受領年月日 ⑤ 給与を得た職員の総数及び当該職員に対する給与の総額に関する事項 ⑥ 支出した寄附金の額並びにその相手先及び支出年月日 ⑦ 海外への送金又は金銭の持出しを行った場合におけるその金額及び使途並びにその実施日		
ヘ	助成金の支給を行った場合に事後に所轄庁に提出した書類の写し		

（注意事項）

- 認定基準等チェック表第5表は、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）の提出時に記載及び添付する必要があります。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、添付の必要はありません。

認定基準等チェック表（第6、7、8表）

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金
-----	----------------------------

認定基準等チェック表（第6表）

6 実績判定期間を含む各事業年度の特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等を同法第29条の規定により所轄庁に提出していること						チェック欄
特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等の所轄庁への提出の有無						
①	②	③	④	⑤	⑥	
有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	

認定基準等チェック表（第7表）

7 法令又は法令に基づいてする行政庁の処分に違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実その他公益に反する事実がないこと							チェック欄
							✓
法令に違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実 その他公益に反する事実の有無							
①	②	③	④	⑤	⑥	申請時	
有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	

注・認定基準等チェック表（第7表）は、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）の提出時に記載及び添付する必要があります。

認定基準等チェック表（第8表）

8 申請書を提出した日を含む事業年度の初日において、その設立の日以後1年を超える期間が経過していること				チェック欄
事業年度	月 日～ 月 日	設立年月日	平成 年 月 日	

（注意事項）

- ・ 法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）の提出時に当たっては、認定基準等チェック表（第6表及び第8表）は、記載する必要はありません。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、認定基準等チェック表（第6表及び第8表）の記載の必要はありません。また、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

欠格事由チェック表

法人名	特定非営利活動法人化学兵器被害者支援日中未来平和基金	チェック欄
認定、特例認定又は認定の有効期間の更新の基準にかかわらず、次のいずれかの欠格事由に該当する法人は認定、特例認定又は認定の有効期間の更新を受けることができません。		✓
1 役員のうちに、次のいずれかに該当する者がある場合		
イ 認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は特例認定特定非営利活動法人が特例認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該特例認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しないもの		
ロ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者		
ハ 特定非営利活動促進法若しくは暴力団員不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法204条等 ^(注1) 若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者		
二 暴力団の構成員等 ^(注2)		
2 認定又は特例認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人		
3 定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人		
4 国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人(認定、特例認定及び認定の有効期間の更新の申請時には、所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書の添付が必要となります)。		
5 国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人		
6 次のいずれかに該当する法人		
イ 暴力団		
ロ 暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人		

1	役員のうち、次のいずれかに該当する者の有無	
イ	認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は特例認定特定非営利活動法人が特例認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該特例認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しない者の有無	有・無
ロ	禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無	有・無
ハ	特定非営利活動促進法若しくは暴力団員による不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法第204条等若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無	有・無
二	暴力団の構成員等の有無	有・無
2	認定又は特例認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人	はい・いいえ
3	定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人	はい・いいえ
4	国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人	はい・いいえ
添付書類	認定、特例認定又は認定の有効期間の更新の申請時に、上記4に係る所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書を添付すること (注1) その他の事務所がある場合は、その他の事務所所在の滞納処分に係る納税証明書も添付すること (注2) 役員報酬規程等提出書には添付不要	
5	国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人	はい・いいえ
6	次のいずれかに該当する法人	
イ	暴力団	はい・いいえ
ロ	暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人	はい・いいえ